

文について示されている。しかし、いづれの文にも善導釈が用いられているが、その解釈法は相異する所ないといつても過言ではない。ただ凡夫が浄土往生を願うには自己の罪惡生死の凡夫であることを自覺して同時に偉大なる仏の願力によつて仏の名な称えて心を真実心にして、仏の願力に乗じて往生を得ることを確信して、三心を具足することである。この三心を具足することが往生できる最大の条件であつたのである。これによつて三心の重要性が強調されてくる。――完――

三心の研究

鳥山道彦

三心の研究

浄土所依の經典である三部經、觀經の上輩觀の中に

「若有衆生願生彼國者發三種心即便往生何等爲三一者至誠心二者深心三者廻向發願心具三心者必生彼國」

此の三者を具す者は、必ず往生する事が出来る。これが三心の根本精神である。

仏教大學研究紀要三十四号高島寛我先生の論文によれば、選択集に云く

「此三心者總而言之通諸行法別而言之在往生行今舉通攝別意即周矣、行者能用心勿敢忽緒

と決疑鈔に之を受けて云く

「義推正直、信心回向可通二門其理必然然則三心通聖道文往往是多、維摩起信所明三心与今三心同異思之」

と今浄土門に於ける三心即ち至誠心、深心廻向發願心は聖道門に於ける諸の行法に通ずることはその理必然である。

維摩詰所說經仏國品にては

「寶積、当知直心是菩薩淨土、菩薩成仏時不詔衆生來生其國、深心是菩薩淨土、菩薩成仏時具足功德衆生來生其國、菩提心是菩薩淨土、菩薩成仏時大乘衆生來生其

又その下に之を受けて、

「如是宝積、薩隨其直心則能發行 隨其發行則得深心、隨其深心則意調伏 隨意調伏則如說行 隨如說行則能廻向 隨其廻向則有方便 隨其方便則成就衆生隨成就衆生則仏土淨云々」と

次に起信論にてはその分別發趣道相に於て

「復次信成就發心者 發何等心略說有三種 一者直心 正念真如法故 二者深心 樂集一切諸善行故 三者大悲心 欲拔一切衆生苦故」

次で發心につき、直心、深心、大悲心を説く所以を問答説明している。

維摩經に説れた三心は、菩薩心地の根底であり、即ち聖道菩提心としての三心である。

起信論の三心は、真如に対する心の持ちようであり、即ち聖道菩提心としての三心である。次に觀經の三心を見ると

淨影の觀經には

「心有三種 一者誠心誠謂實也起行不虛實心求去故曰誠心 二者深心信樂慙至欲生彼國 三者廻向發願之心直 趣求説之為願挾善趣求説為廻向」

とあり、此の三心を見るに、深心に信樂慙至にして彼の國に生ぜんと欲すとある。これは信心満足する事によつて信樂と名づけ亦深心と云うのであるから信樂と深心は同義である。又天台は

「至誠心者即實行衆生至之言實深者仏果深、高以心往求故云深心」

天台は廻向發願心については解釈はしてはいない。善導の説く所の三心は

「四者弁定三心以為正因 一者至誠心至者真誠者實欲明一切衆生身口意業所修解行必須真実心中作又真実有二種 一者自利真実 二者利他真実」

「二者深心言深心者即是深信之也亦有二種 一者決定深信自身現是罪惡生死凡夫

己来常流転無有出離之縁二者決定深信彼阿弥陀仏四十八願摂受衆生無疑無慮乗彼願力定得往生」

「三者廻向発願心言廻向発願心者過去及以今生身口意業所修世出世善根及隨喜他一切凡聖身口意業所修世出世善根以此自他所修善根悉皆真實深信心中廻向願生彼国故名廻向発願心」

とあり、淨影寺や天台とちがつて三心の思想の移行とありますが各々一心一心が深く掘り下げられている。善導の説く所によれば至誠心とは真実のことであつて外に賢善の相を現わして内に虚仮心をいなくこと無く身口意三業に修行する所の行業は全て真実の心を以てすることである。又深信は、深く信ずる心なり、これに信機、信法の二種深信を説いている。信機とは、自己の罪惡の深さを信知することである。信法は、三仏三經によつて阿彌陀仏の願力を信ずることである。淨影、天台の深信は願生彼国の深信であるのに対し善導は、罪とがの泥海におぼれてこのまゝではどうしてものがれるすべがないこ

とを深く信じ、又全ての教えを信ずる事である。そして自力でなく他力によつて願生するのである。又廻向発願心は、過去および今生の身口意業に修する所の世、出世の善根と及び他の一切の凡聖の身口意三業に修する所の世、出世の善根を隨喜せると、此の自他所修の善根を以て悉く皆な真實深信の心中に廻向して彼の国に生ぜんと願ず。淨影の深信で願生彼国であつたのに対して善導は廻向発願心で願生彼国となるのである。又善導觀經疏に

「言南無者即是歸命亦是發願廻之義言阿彌陀仏者即是其行」

とあつて南無を願として阿彌陀仏を行として、南無阿彌陀仏に願行具足せることを強調している。善導の意によれば南無は發願廻向の義で發願廻向する主体は衆生の側に属するのであつて如来の側にあるのではない。この説をそのまゝ受容したのが法然仏教に於ける南無歸命の理解の仕方である。願行具足することによつておのずから三心具足するのであると法然上人は説かれているのである。